

総工GPニュース 第11号*

1. 8月27日(金)「ものづくりの現場をみる」工場見学(学生主事室・2年担任団・専門6コース)

キャリアデザイン教育およびものづくりの現場をみるという活動の一環として、5つの見学コースを用意し、2年生の学生が希望に応じて、下記の会社・工場へ見学に行きました。

【機械系コース 1】

株式会社椿本チェイン京田辺工場にて、会社やチェインについて説明を聞いた後、チェインを実際に触らせてもらったり、生産工場の見学をさせていただきました。チェインはさまざまな装置に使われており、たくさん種類があることを知りました。工場の見学は少し暑かったですが、見学後の質疑応答には、機械工学科卒業の先輩2名にも参加頂き、学生達の率直な質問に快く回答して頂きました。

【機械系コース 2】

ダイキン工業株式会社 滋賀製作所にて、会社の説明を受けた後施設見学をさせていただきました。滋賀製作所は滋賀県草津市にある広大な工場で、40名の学生が参加し3班に分かれて、家庭用エアコンの製造工程を見学させていただきました。見学後の質疑応答の時間では高専卒業生の担当業務について質問するなど、将来の就職を見据えた見学会となり有意義な時間を過ごせたと思います。

【電子情報コース】

京セラコミュニケーションシステム株式会社にて、会社説明、卒業生講話、施設見学の後、見学を振り返る意味でクイズをしていただき、正解者はプレゼントをいただきました。予定時間を少しオーバーしましたが、今回の見学のために多くのプログラムを用意していただき、学生ともども充実した一日を過ごせたと思います。

【物質化学コース】

武田薬品工業株式会社の大阪工場を見学させていただきました。最初に説明の映像を見た後、実際の工場を見学させていただきました。製薬会社の工場ということで大変、清潔で、厳密に管理されていて、感銘を受けました。工場見学の後には工場を担当されているかたにも来て頂き、活発な質疑応答がなされました。自分が将来どのような仕事につきたいか考える良い機会になりました。

【環境都市システムコース】

最初に奈良市にある大和ハウス工業株式会社総合技術研究所を訪問しました。ここでは耐震や環境に関する研究や最新技術の説明を聞いて、実際の住宅施設を見て、震度7相当の地震や高断熱効果を体感するなど、見て聞いて体感するという分かり易くて楽しい勉強となりました。次に宇治市にある国土交通省近畿地方建設局の天ヶ瀬ダムを見学しました(写真1・左)。ここではダムの構造や洪水対策の考え方について説明があり、ダム管理システムを見学しました(写真1・右)。実際の現場を見ることで水災害対策を考える良い機会となりました。最後にダムから2kmほど下流の平等院近くで休憩しました。みんなで宇治川の速い流れを見ながら、上流のダムに思いを馳せた次第です。



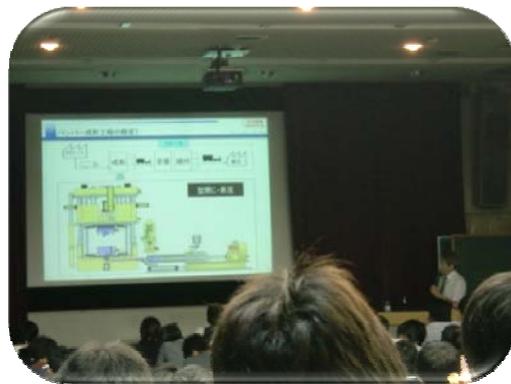
写真1 工場見学の様子(環境都市システムコース)

*TPGP採択に伴い、本号より「教育GPニュース」を「総工GPニュース」に改名致しました。また、組織図についても表現方法をTPGPと統一しています(組織自体には変更ありません)。改訂次第、総工GPホームページに反映します。

2. 9月9日(木) 第二回教育GP ものづくりの現場を聴く 講演会(学生主事室・総工II:真野教授)

株式会社ティー・エス・コンサル 代表取締役の竹内鉦造様に、「私の会社生活と自己主張」という演題で、会社生活で得たことなどをお話いただきました。大学時代は電子工学を専攻され、トヨタ入社後は、鍛造工程やバンパの射出成形工程に長く関わられた経験からものづくりにおける生産技術の役割と重要性について講演されました。また、これらのトヨタにおける経験が、後に松下電器産業の経営に活かされる興味深い話でした。

2年生の学生にはなじみのない生産技術についていくつかの例をあげながら、製造工程における持続的な改善が製品のコストを下げ、工場の生産性を向上させることを力説されました。ただ、現場の生々しい事例が中心であったため、使われている技術用語や概念は学生には難しかったかもしれません。技術者が日々熱心に取り組んでいる仕事を理解するためには、なお一層の専門的な勉強が必要であることを知るよい機会でした。

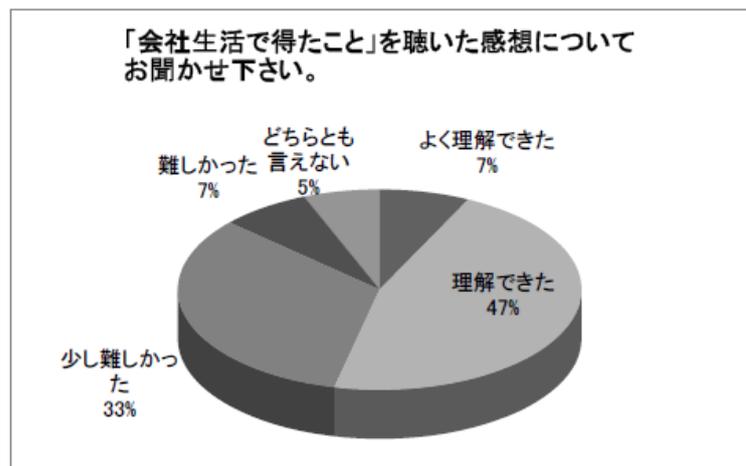


第二回教育GP「ものづくりの現場を聴く」講演会の様子

第二回教育GP「ものづくりの現場を聴く」講演会のアンケート結果

I-1「会社生活で得たこと」を聴いた感想についてお聞かせ下さい。

よく理解できた	14
理解できた	91
少し難しかった	65
難しかった	14
どちらとも言えない	12
その他(無回答)	2
計	198



■総合工学実験実習Ⅳからのお願い

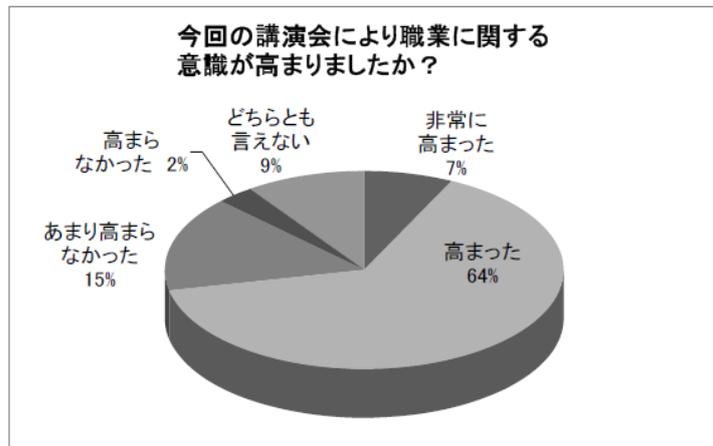
今年も高専祭の11月7日(日)に5年生卒業製作の展示会を開催します。会場は、図書館ロビー、ゼミナール室および図書館北側屋外です。受付は昨年同様図書館ロビーで行います。

教職員の皆さんも是非ご観覧いただき、展示物に対する評価をよろしくお願いたします。



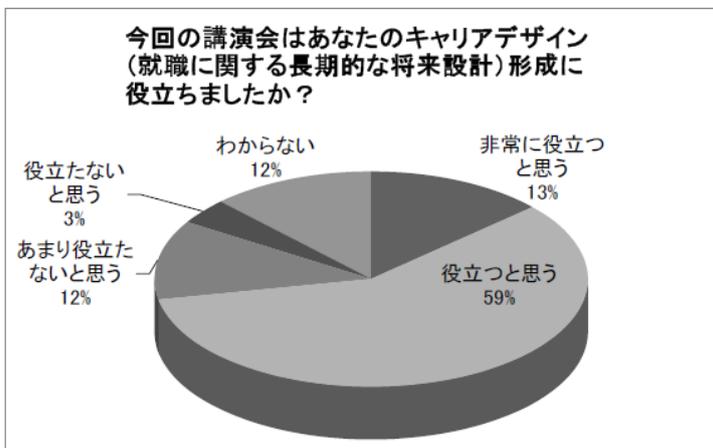
I-2 今回の講演会により職業に関する意識が高まりましたか？

非常に高まった	14
高まった	127
あまり高まらなかった	31
高まらなかった	6
どちらとも言えない	19
その他(無回答)	1
計	198



I-3 今回の講演会はあなたのキャリアデザイン(就職に関する長期的な将来設計)形成に役立ちましたか？

非常に役立つと思う	26
役立つと思う	116
あまり役立つたないと思う	23
役立つたないと思う	8
わからない	24
その他(無回答)	1
計	198



II 今回の講演会に関して、特に関心のあった事柄を1つあげてください。(自由記述の抜粋)

- 『挑戦する事を否定しない』つまり挑戦する事を否定すれば向上心もなえて、今の段階で止まってしまう。科学も全て永遠に成長していく中、止まってしまえばどれだけ後ろに離れて走っている車もいつかは止まっている車に追いつくように追いつかれてしまう。ゆえに、挑戦する事を否定してはいけない。
- 各、製造行程で、少しずつ時間やコストを少なくすることで、大幅な時間短縮、コストダウンに成功して、すごい努力だと思った。
- 無駄を省いて、生産能力を伸ばそうと原因をさぐる所がよかった。たった一秒でも短縮することはとても必要であることがわかったこと。
- ムダをなくすということで手の使い方一つで一秒も変わるという事がすごいと思った
- 改善の基本精神10ヶ条竹内バージョンは、色々なものにも当てはまりそうなので、すごく勉強になった。

III 今回の講演に関して、何か意見があれば書いて下さい。(自由記述の抜粋)

- また来てもらいたいと思った。
- またこのような講演会を行ってほしい。
- また違うジャンルの方のお話を聞きたいと思った。
- たのしかった
- 最初はちょっと僕達と離れた話だと思ったが、クラブで物を作るときに参考になる話もあって楽しかったです。

改善の基本精神10ヶ条竹内バージョン

- 1 造りの方の固定概念(今までのやり方)を捨てよう
- 2 出来ない理由の説明よりも、やる方法を考える
- 3 議論に時間を使うな、5げんで現状を把握せよ
5げん=(現地、現物、現認、原理、原則)
- 4 パーフェクトを求めな。60点で良いまず実行
- 5 基準・標準を造れ、標準の無いところに改善無し
- 6 誤りはその場ですぐ直せ
- 7 困らなければ良い知恵は出ない
- 8 真因の追究・・・なぜを5回後に改善方法を
- 9 一人のひらめきよりも10人の知恵を
- 10 改善は無限である